

# かけはし

もも組  
～ダイナミックワールド号～

4月から現在において、もも組で展開されている遊びの一部やその遊びが始まったきっかけなどを、ご紹介させていただきます。

## ★ 室内遊び「おままごと」からの遊びの発展 ★

4・5月、一人ひとりが思い思いに遊んでいた姿から、徐々に保育者や友達と一緒に遊び出す姿へと変化してきました。季節によって様々な遊び方に発展していきました。



保育者と一緒に「おままごと」遊びをする中で、ぬいぐるみにご飯を食べさせたり、パーティーごっこをしたりしました。



6月、オタマジャクシがカエルになったところを観察したことから、カエルになりきった遊びがうまれ…。



ちぎった新聞紙で池をつくり、その中に飛び込んで新聞紙の感触を味わったり、葉っぱに見立てたフープの中を両足ジャンプしたりして遊びました。



おままごとの食べ物を空き箱に詰めて、グリーンデッキへ。段ボールを置いておくと、その中をお家に見立てた遊びがスタート。



7月、「おばけなんてないさ」の歌を覚えた子どもたち。遊びのなかでも、おばけをつくり、歌をうたいながら揺らしたり、おばけを持って散歩に出かけたりして遊びました。



「おなやすいたよ～」とおばけが遊びに来ると、おままごとの食べものを食べさせてあげる姿も見られました。



みんなで入れるように、段ボールをつなげて、大きなお家に…。段ボールで屋根をつくと、「本当のお家みたい！」と嬉しそうな子どもたち。



おっと、お家が倒れちゃった…。すると、今度は、段ボールがベッドに変身！寝転んだら、お空の雲が見えているのが見えたよ！



ハロウィンが近づくと、段ボールのお家が「おばけのお家」に…。おばけに変装したり、お店屋さんからお菓子を買って、お家の中で食べたりして遊んでいます。

## ★ 段ボール遊びの発展 ★

段ボールの形を様々に替えて、いろいろな遊び方をしています。



☆段ボールのトンネル  
いろいろな大きさのトンネルに挑戦！狭いトンネルは、腕の力を使って腹ばいで進むので少し難しいですが、がんばってチャレンジしています！



☆段ボールのお山を両足ジャンプ  
1学期、両足ジャンプですすむことに挑戦してきたので、今度は、少し高さのある障害物を跳び越えることに挑戦中！



☆ドングリ転がし  
お散歩で拾ったり、友達が持ってきてくれたりしたドングリがたくさん集まったので、保育者がピタゴラをつくと、「やってみよう！」と何度も転がして遊んでいます。

## ★ 戸外遊び「砂遊び」からの遊びの発展 ★

お天気の良い日は、太陽の光を浴びて、季節を感じながら戸外遊びをしています。



1学期の戸外遊びの中心は、砂遊び。砂の感触を味わいながら、おのおのに、バケツに砂を入れたり、お山をつくらしたり。えのきのお家をお店屋さんにして、保育者が子どもたちの間に入ることによって「どうぞ」「おいしいですよ」など、言葉や物のやりとりも始まりました。



夏になると、水をつかって、ダイナミックな泥んこ遊びに発展。池や川をつくらしたり、泥団子をつくらしたりしました。



秋になり、「赤い(葉)見つけた！」「長い(小枝)あったよ！」と、みんなで落ち葉や小枝を集めている子どもたち。小枝は、ポッキー、赤い葉っぱは、イチゴ味のおせんべいに見立てたりしています。



今年のもも組の子どもたちは、虫に関心のある子どもたちが多く、虫探しも人気です。シャベルを持って、土や葉っぱの下を覗いて探しています。



えのきの木に、蜘蛛の巣を発見！枝ごととると、近くで観察。「あっ、クモさん居るね！」



新しい遊具に挑戦中です！難しい傾斜登りも、体を移動させながら、上まで登ろうと、何人もの子どもたちがチャレンジしています。